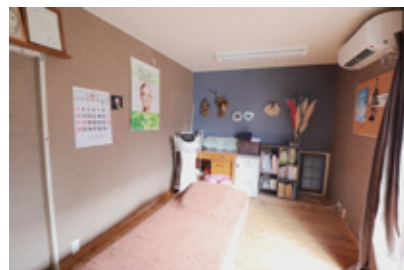


今月の「シリーズまち・ひと・しごと」は、リラクゼーションのお店「癒処 揉み家」の店主、そして「とねマルシェ」の代表も務める大久保めぐみさんにお話を伺いました。



「やりたいと思ったことは、突き詰めたい。今やらないときっと後悔すると思うので」

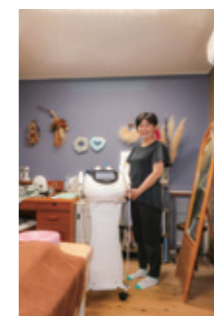


癒処 揉み家
月～金
10時～17時
050-1078-6856
女性専用



「癒処 揉み家」の開業
大久保さんが経営するリラクゼーションサロン「癒処 揉み家」は、機械は使わず、「揉みほぐし」にこだわったお店です。マッサージが症状改善のために行う治療行為であるのに対し、リラクゼーションは心身の癒しを得るために行うもので、副交感神経を優位にし、自律神経のバランスを整えるなど、精神面はもちろんのこと、血行促進によるむくみや体のコリの軽減といった健康面でのメリットがあります。
特に、揉みほぐしは、筋肉をほぐし血行改善を目的に行われる施術で、疲労回復やストレス改善、体が軽く感じるなどの効果が期待できます。
「独身の頃から、温浴施設でリラクゼーションの仕事をしていて、ストレスを抱えて癒しを求めてくるお客様が多いなと感じていました。子どもが小さかった時は、育児で働きに出るのが難しくては

TONE



今月の表紙

表紙の写真は、今月の「シリーズまち・ひと・しごと」で取材した、癒処揉み家の店主であり、とねマルシェの運営代表でもある大久保めぐみさんです。とねマルシェを立ち上げたきっかけや、町への想いについてお話を伺いました。ぜひご覧ください。

もくじ -contents-

広報とね 2023年10月号

- 2 利根町百景／もくじ
- 3 シリーズまち・ひと・しごと # 53 どの世代も楽しめる場所に とねマルシェ運営代表 大久保 めぐみ さん
- 6 一般会計決算報告
- 10 とね魅力アップビジョン
- 12 移動スーパー運行情報
- 13 暮らしの情報（ご相談・ご案内）
- 15 消費生活相談・商工会だより
- 16 ぼうさい掲示板
- 17 町政懇談会のお知らせ
- 19 保健福祉センターだより／健康レシピ
- 22 お知らせ -TONE Information-
- 26 日本ウェルネススポーツ大学通信 フリフリグッパ体操／とねワイワイくらぶ
- 28 男女共同参画・SDGs 17の目標・スマホ講習
- 30 利根町民納涼花火大会
- 32 まちの話題 PHOTO NEWS
- 34 とね子育て支援センター・わが家のアイドル
- 35 図書館へ行く
- 36 とねまちプレイバック



～利根町百景～

北用水樋門は、現存する茨城県最古のれんが造りの樋門です。明治20年頃、新素材としてれんがとセメントが普及するまでは、水門は竹や木製が主流で、壊れやすい水門に農民たちは不安を抱えていました。そんな中、明治32年に立木村に作られた北用水樋門（通称・小水門）は、当時の農民たちにとって夢のような水門でした。
その後、鉄筋コンクリート工法の発展により、全国的にれんが造りの水門は壊されていますが、北用水樋門は役目を終えた後も残り続け、ひっそりと歴史を物語っています。

北用水樋門

利根町立木

なし

情報をお寄せください

広報とね「利根町百景」は、読者の皆さま寄せられた情報をご紹介するコーナーです。利根町で見つけた美しい景色、珍百景、新百景など、利根町の魅力となる身近な情報を写真付きでお寄せください。

【応募方法】

総務課「利根町百景」係まで写真をメールで送付してください。



「広報とね」では、高齢者や弱視の方を含む、すべての皆さまが読みやすい紙面とするため、視認性の高い文字「ユニバーサルデザインフォント（UDフォント）」を使用しています。